# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2022年第32週(8月8日~8月14日)

#### 今週のコメント

~感染症予防の基本~ 咳エチケット、手洗いが重要

## 定点把握感染症

「RSウイルス感染症 さらに減少」

第32週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,222例であり、前週比36.8%減であった。定点あたり報告数の第1位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.51、1.38、0.59、0.22、0.20である。

RSウイルス感染症は前週比41%減の688例で、南河内5.81、泉州5.58、大阪市南部5.00、堺市4.74、北河内4.52であった。

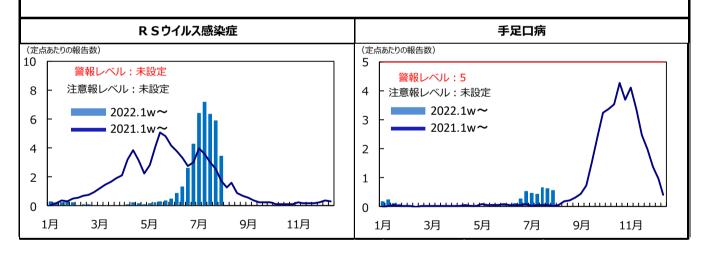
感染性胃腸炎は38%減の271例で、南河内2.25、中河内2.10、堺市2.05である。

手足口病は11%減の115例で、南河内1.13、大阪市北部1.00、大阪市西部0.80であった。

ヘルパンギーナは2%減の43例で、大阪市北部0.71、大阪市西部0.70、中河内0.30である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は19%減の39例で、大阪市南部0.50、中河内0.45、南河内0.31であった。

今週、インフルエンザが府内で7例報告があった。



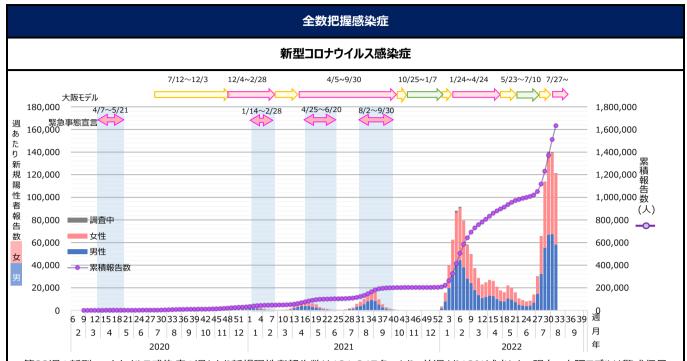
#### 表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2022年 第32週8月8日~8月14日)

| 第32週の<br>順位 | 第31週の<br>順位 | 感染症           | 2022年<br>第32週の<br>定点あたり<br>報告数 | 前週比增減 | 2021年<br>第32週の<br>定点あたり<br>報告数 | 2022年第32週の<br>年齢別<br>患者発生数<br>最大割合値 |
|-------------|-------------|---------------|--------------------------------|-------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1           | 1           | RSウイルス感染症     | 3.51                           | 41%減  | 1.73                           | 1歳_33%                              |
| 2           | 2           | 感染性胃腸炎        | 1.38                           | 38%減  | 1.41                           | 1歳_21%                              |
| 3           | 3           | 手足口病          | 0.59                           | 11%減  | 0.04                           | 1歳_49%                              |
| 4           | 6           | ヘルパンギーナ       | 0.22                           | 2%減   | 0.04                           | 1歳_42%                              |
| 5           | 5           | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.20                           | 19%減  | 0.20                           | 20歳以上_18%                           |

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021/22年シーズンのインフルエンザ集計は第12週で終了しました。

~新型コロナウイルス感染症~ 基本

基本的な予防の徹底を(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、 密閉・密集・密接の回避)



第32週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は121,347名であり、前週より13%減少した。現在、大阪モデルは警戒信号(赤)である。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。

新型コロナウイルス(COVID-19)関連情報(国立感染症研究所)

新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について(大阪健康安全基盤研究所)

新型コロナウイルス感染症関連特設サイト(大阪府)

### 表2.大阪府全数報告数(2022年 第32週8月8日~8月14日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホーハページ> 「凋報】> 全数把握疾患 をご覧ださい。)

| (我はログのガル大心のがたに乗びしているす。計画は必然未がに同事なことが、アンノを関すな」と主義とは連次して主義という。 |  |     |    |    |     |     |                 |    |    |     |     |
|--|--|-----|----|----|-----|-----|-----------------|----|----|-----|-----|
|  | 疾患名<br>( )内の病型は今週報告分のみ<br>府内累積報告数の内訳は省略          | 報告数 | 豊能 | 三島 | 北河内 | 中河内 | 南河内             | 堺市 | 泉州 | 大阪市 | 報告数 |
| 3類感染症  | 腸管出血性大腸菌感染症                                      | 3   |    |    | 1   |     |                 |    |    | 2   | 93  |
| 4類感染症  | レジオネラ症(肺炎型)                                      | 4   |    | 1  | 1   | 1   |                 |    |    | 1   | 61  |
| 4 規念未定   | レジオネラ症(ポンティアック熱型)                                | 1   |    |    |     |     |                 |    | 1  |     | 01  |
|  | アメーバ赤痢   | 1   |    |    |     |     |                 |    |    | 1   | 28  |
|  | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症                               | 1   |    |    |     |     |                 |    |    | 1   | 73  |
| 5類感染症  | 後天性免疫不全症候群                                       | 2   |    |    |     |     |                 |    |    | 2   | 61  |
|  | 侵襲性インフルエンザ菌感染症                                   | 2   |    |    |     |     |                 |    | 1  | 1   | 8   |
|  | 梅毒   | 15  | 1  | 2  |     |     |                 |    |    | 12  | 968 |
| 新型インフルエンザ等感染症  | 新型コロナウイルス感染症 <b>121,347</b> 2020年1月以降累計 1,632,46 |     |    |    |     |     | 月以降累計 1,632,465 |    |    |     |     |
| 結核   | <b>結核 新登録患者数:81名</b> (内 肺·喀痰塗抹陽性 34名)            |     |    |    |     |     |                 |    |    |     |     |
| (2022年6月分)   | (2022年6月分) (府内累積報告数 528名、内 肺・喀痰塗抹陽性 194名)        |     |    |    |     |     |                 |    |    |     |     |

(2022年8月16日 集計分)